事業完了報告書

提出日：　2023 年　5 月　15 日

１．事業概要

（１）資金分配団体名：（公財）日本国際交流センター
（２）事業名：外国ルーツ青少年未来創造事業（外国にルーツをもつ子ども・若者の社会的包摂のための社会基盤づくり）（SYDRIS）
（３）事業実施期間：2019 年 11 月～ 2023 年 3 月
（４）実行団体名：(特活)IKUNO・多文化ふらっと(大阪府)、(特活)ABC ジャパン(神奈川県)、(特活)glolab(東京都)、(社福)さぽうとにじゅういち(東京都)、(特活)青少年自立援助センター(東京都)、(特活)アレッセ高岡(富山県)、(一社)DiVE.tv (愛知県)

2. 規程類の整備・運用実績

いずれかにチェック☑をつけていただき、項目ごとの設問に回答してください。

（１）事業期間に整備が求められている規程類の整備は完了しましたか。
☑　完了　／　☐　整備中
→上記で「整備中」を選択した場合、整備できていない理由を記載してください。また、事業開始時と比較して、整備状況が改善された点を記載してください。
（２）　整備が完了した規程類を自団体の web サイト上で広く一般公開していますか。
☒　全て公開した　／　☐　一部未公開　／　☐　未公開
→上記で「一部未公開」または「未公開」を選択した場合、その理由と公開予定日を記載してください。
（３）　変更があった規程類に関して JANPIA に報告しましたか。
☐　変更があり報告済　／　☐　変更があったが未報告　／　☑　変更はなかった
→上記で「変更があったが未報告」を選択した場合、その理由を記載してください。

3. ガバナンス・コンプライアンス体制の整備・運用実績

いずれかにチェック☑をつけていただき、項目ごとの設問に回答してください。

（1） 社員総会または評議員会、理事会は、規程類の定めるとおりに開催されていますか。
☑ はい ／ ☐ いいえ
→上記で「いいえ」を選択した場合、その理由を記載してください。
（2） 内部通報制度は整備されていますか。
☑ はい ／ ☐ いいえ
→上記で「はい」を選択した場合、設置方法を以下から選んでください。（複数選択可） ☑ 内部に窓口を設置 ／ ☐ 外部に窓口を設置 ／ ☐ JANPIA の窓口を利用
（3） 利益相反防止のための自己申告を定期的に行っていますか。
☑ はい ／ ☐ いいえ
→上記で「いいえ」を選択した場合、その理由を記載してください。
（4） 関連する規程類や資金提供契約の定めるとおりに情報公開を行っていますか。
☑ はい ／ ☐ いいえ
→上記で「いいえ」を選択した場合、その理由を記載してください。
（5） コンプライアンス委員会を設置していましたか。
☑ はい ／ ☐ いいえ
→上記で「いいえ」を選択した場合、その理由を記載してください。

（6） ガバナンス・コンプライアンス体制の整備や強化施策を検討・実施しましたか。
☑ はい ／ ☐ いいえ
→【任意】上記で「はい」を選択した場合、どのような検討・実施をしたか事例を記載してください。
（7） 団体の決算書類に対する会計監査はどのように実施しましたか。本事業の最終年度の状況を選択してください。（実施予定の場合を含む）
☑ 外部監査 ／ ☐ 内部監査 ※（複数選択可）
→上記で外部監査／内部監査を選択した場合、その実施者/実施時期を記載してください。 毎年 6 月に開催される理事会に先立ち 5 月に監査役の 2 名（本田敬吉イー・エフ・アイ（株）代表取締役会長、星久人ベネッセホールディングス特別顧問）により実施。また実務的には飛悠税理士法人による会計アドバイスを受けている。
（8） 本事業に対して、国や地方公共団体からの補助金・助成金等を申請、または受領していますか。
☐ はい ／ ☑ いいえ

4. 広報実績

いずれかにチェック☑をつけていただき、設問に回答してください。

（1）シンボルマークの活用状況
☑ 自団体のウェブサイトで表示している ／ ☑ 広報制作物に表示している ☐ 報告書に表示している ／ ☑ イベント実施時に表示している ☐ その他 →「その他」を選択した場合は記載してください （自由記述）：

最終年度の広報実績について記載してください。

広報種類	有無	内容
メディア掲載（TV・ラジオ・新聞・雑誌・WEB 等）	有	別添参照
広報制作物等	有	別添参照
報告書等	有(予定)	多文化共生の現在地（出版予定）、日本における外国ルーツ青少年の暮らしと進路への認識（出版予定）

5. 実行団体への事業完了時監査

いずれかにチェック☑をつけていただき、項目ごとの設問に回答してください。

実行団体への事業完了時監査は実施しましたか。
☑ 実施済み ／ ☐ 実施予定（完了予定時期：　　）
外部監査員により、各事業が計画書に基づいて問題なく執行されてきたことが確認され、ガバナンス・コンプライアンス全般、不正行為等への対応、人件費水準の開示、シンボルマークの表示など、資金提供契約書に含まれる各項目について適正な対応がなされていることが確認できた。 事業内容については、全団体において、コロナ禍を含む予想しなかった課題や状況において柔軟に対応してきたことに対する評価がなされた。今後の課題としては、事業期間中に作成/開発したコンテンツや得られた成果を関連機関との連携やマーケティングを通してさらに広げていくことが指摘され、そのための具体的な方法論に対するアドバイスがなされた。

6. その他（本助成を通じて組織として強化された事項や新たに認識した課題、今後の対応/あればよいと思う支援や改善を求めたい事項など、自由にご記載ください。）

資金分配団体である JCIE は従来から、在留外国人の多様な課題に関心を持ち、一定の活動を行ってきた。本事業により、外国ルーツ青少年についてより深く課題や可能性についての認識が深まるとともに、組織的にも事業を実施するためのスタッフの拡充など体制強化につながった。今後、在留外国人の増加が予測される中で、外国ルーツ青少年の増加が見込まれるが、これまでの事業を通じての経験をもとに、現場で活動する草の根の団体に対して適切なアドバイスを行うとともに、政府や政治家等を通じて、本テーマについての認識を広げる取り組みを行っていきたい。外国ルーツ青少年についての JANPIA としての協力を継続してお願いしたい。

【添付資料】

活動の様子がわかる写真　5 枚程度

JANPIA の事業報告書や WEB サイト、SNS 等で公開可能な写真を 5 枚程度（1 枚 2MB 以下）ご提出ください。（肖像権・著作権に十分にご注意ください。）

それぞれどんな場面の写真なのか、1 枚あたり 50 字から 200 字程度で説明を記載していただきますようお願いいたします。

ネットワーク会議

本事業に採択された 7 つの事業を実施するコンソーシアム型を含む 8 つの団体による交流・情報共有を図りながら、外国ルーツ青少年にかかわる多様なセクターとのネットワーキングを目的として、3 年間 8 回にわたり実施した。

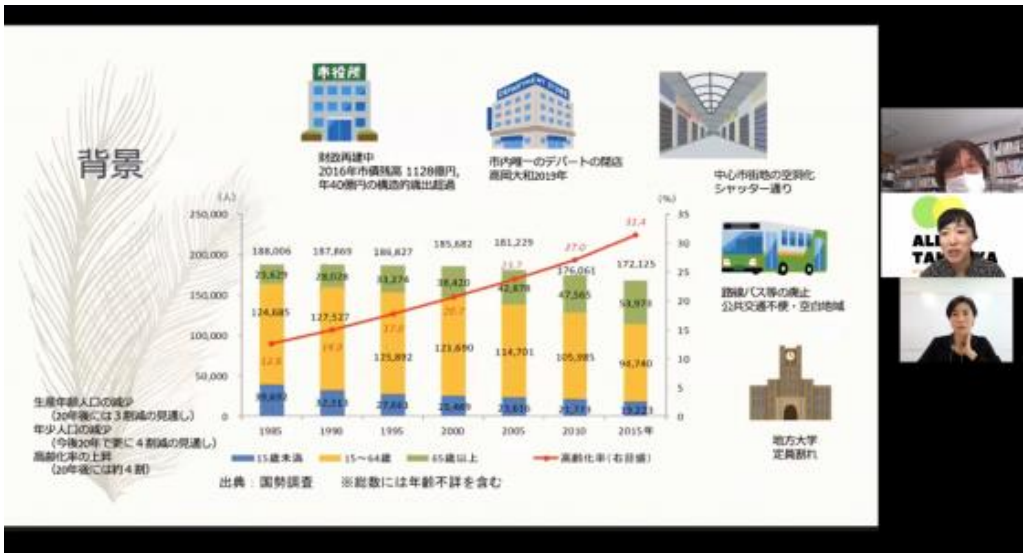
第 4 回ネットワーク会議（2021 年 9 月 8 日）「行政との協働をどう進めるか―外国ルーツ青少年の視点に立った事業づくりに向けてー」

第 8 回ネットワーク会議（2022 年 11 月 30 日―12 月 1 日）「助成後とその先(2) ーつながってできること、社会に向けてできること」

100SEEDxSYDRIS 多文化共生ランチウェビナー

日本に暮らす外国にルーツを持つ子ども・若者を取り巻く現状、課題と、その課題解決に向けての取り組みの重要性への理解とともに、SYDRIS と 100SEED の連携を深めることを目的に、住友商事グループの役職員を対象として、3 年間 5 回にわたり実施した。

ランチウェビナー「外国ルーツの子どもたちの抱える教育課題」（2021 年 2 月 24 日）



100SEEDxSYDRIS 成果報告会（2022 年 11 月 30 日）

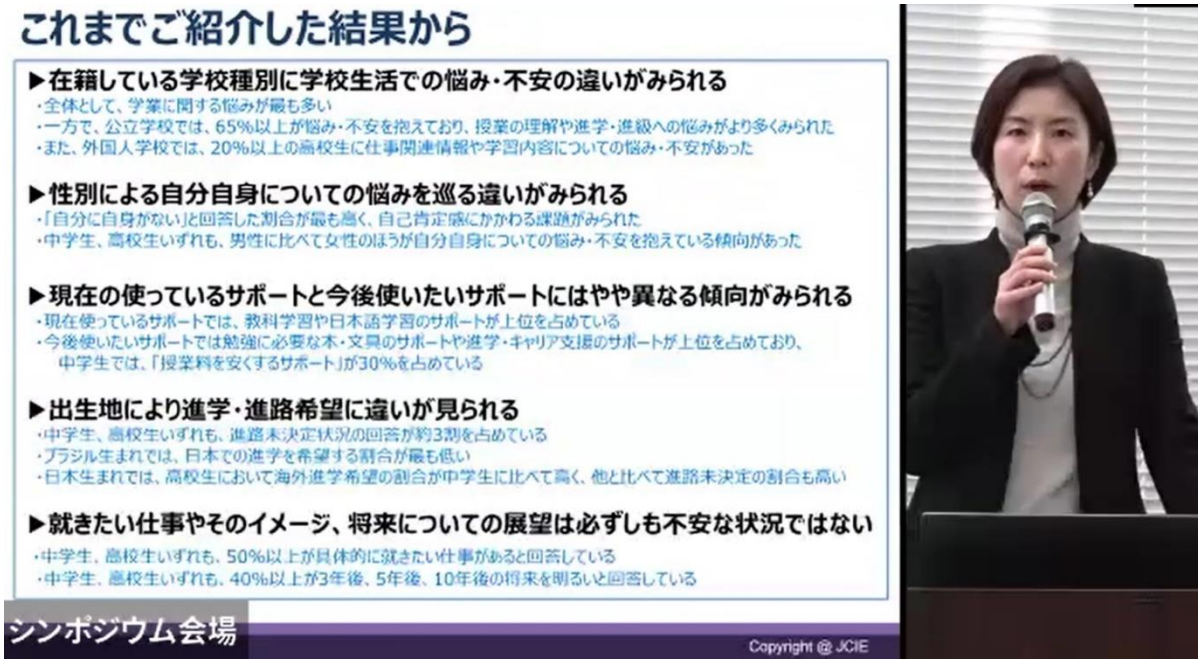
これまでの活動を総括し今後のビジョンを共有するために 100SEED「多文化共生社会を目指す教育支援」に参加した住友商事役職員と SYDRIS 助成団体の関係者が対面で一堂に会した。住友商事サポートメンバーと SYDRIS 助成団体の代表とのパネルディスカッションの様子

SYDRIS 公開シンポジウム「外国にルーツを持つ青少年の自立を支える社会の実現に向けて」

3 年間、実行団体及び資金分配団体が行ってきた事業成果に対する報告とともに、外国ルーツ青少年と彼らを支える活動について知らせることを目的に、公開シンポジウムを 2 回にわたり実施した。

第 1 回「外国ルーツ青少年のライフスパンを意識した包括的支援の在り方」（2023 年 2 月 22 日）

外国ルーツ青少年当事者調査の結果報告の様子



パネルディスカッションの様子

第２回　「外国ルーツ青少年の社会包摂の仕組みづくり」（2023 年 3 月 1 日）
全国自治体調査の結果報告の様子

パネルディスカッションの様子

※ご提出をもって JANPIA での使用にご了承いただいたこととし、使用時に改めて確認はいたしませんので、ご承知のうえ、使用に差支えのない写真（使用許可をとった写真や個人が特定される写真を避ける等）を選んでいただきますようお願いいたします。

No	月日	掲載メディア	記事タイトル	概要	その他
1	2020年4月20日	聖教新聞	「危機の時代を生きる」	毛受のインタビュー内容が掲載	「外国ルーツ青少年の課題が言及された
2	2020年5月23日	読売新聞	「コロナ禍の外国人どう支援」	毛受のインタビュー内容が掲載	「外国ルーツ青少年未来創造事業」が直接的に言及された
3	2020年7月22日	雑誌「財界」	外国人労働者の課題について	毛受のインタビュー内容が掲載	「外国ルーツ青少年の課題が言及された
4	2020年12月5日	東京新聞	「外国籍の子の高校進学ピンチ　新型コロナ出財政難　荒川の学習支援団体」	外国ルーツ青少年の支援現場についての李のインタビュー掲載が掲載	「外国ルーツ青少年の課題が言及された
5	2021年3月4日	NHKオンライン	「外国人依存ニッポン、彼らは「景気の調整弁」？	毛受のインタビュー内容が掲載	「外国ルーツ青少年の課題が言及された」
6	2011年3月31日	朝日新聞	「移民受け入れる仕組みを」	毛受のインタビュー内容が掲載	「外国ルーツ青少年の課題が言及された
7	2021年5月10日	日経新聞	「外国籍の子　支援学級頼み」		外国人の受入れに積極的な企業が増える中、子どもの教育を含め、安心して働ける環境が必要という意識が高まっていると言及。
8	2021年9月8日	読売新聞	「人口政策なしに日本の未来なし―コロナ後に日本が「選ばれる国」になるために」	外国人受入れについてオープンな議論を行う必要性、取り組むべき課題について	「外国ルーツ青少年未来創造事業」とその課題について言及された
9	2021年8月4日	公明新聞	『外国人材の受入れ　どう進めるか　民間有識者会議の提言から』		親が外国籍の子どもにも支援が必要と訴える。
10	2021年9月8日	読売新聞オンライン「調査研究」	『人口政策なしに日本の未来なし―コロナ後に日本が「選ばれる国」になるために』		「外国ルーツ青少年未来創造事業ー外国にルーツをもつ子供・若者の社会的包摂のための社会基盤作り」の参加団体による現場の声を取り上げる
11	2021年11月19日	日経新聞	「外国人就労「無期限」に　熟練者対象、	在留外国人の課題についてインタビュー記事掲載	
12	2021年11月24日	テレビ朝日	ワイドスクランブル	毛受出演し外国人材について意見述べる	
13	2022年6月1日	日本フィランソロピー協会	日本社会全体で難民を受け入れるために	ウクライナ危機を受け、国際社会の一員として難民にどう向き合うべきなのか。課題をあぶり出すとともに、日本社会が目指すべき姿について	
14	2022年6月21日	日経新聞	外国人受け入れ拡大を今こそ	ロシア侵攻によるウクライナ危機を受け、自治体や支援団体が行った積極的支援と外国人との共生社会を柱とする新たな人口政策への着手の必要性について	外国ルーツ青少年支援団体や移民2世以降の教育や就労状況の課題について言及
15	2022年8月5日	雑誌）月刊　ガバナンス　2022年9月号特集：困難に直面する人をどう支えていくか｜地方自治、法令・判例のぎょうせいオンライン	コロナ禍で深刻化した在留外国人政策の課題と展望	コロナ禍によって急増した在留外国人の課題と、明確な外国人受け入れの方針を打ち出すことの必要性について	外国ルーツ青少年未来創造事業について言及
16	2022年10月3日	月刊『財界』2022年10月5日号	日本は日本語教育を始め、必要な手立てを打っていない現実を		毛受インタビュー記事、外国ルーツ青少年未来創造事業について言及